

## 第4章 近世の日本

### 4節 幕藩体制の展開

# 3 幕府政治の安定と元禄文化

p.132-133

## ▶幕府政治の安定

1 (① ) (4代将軍)の時代

a 末期養子の禁止を緩和：大名が死のまぎわに養子を取ることを認め、牢人の増加を防ぐ

\* 背景に軍学者の(② )による慶安の変

b (③ )の禁止：新しい主人への奉公を義務づける

## ▶幕府政治の安定

- 1 (① **徳川家綱**) (4代将軍)の時代
  - a 末期養子の禁止を緩和：大名が死のまぎわに養子を取ることを認め、牢人の増加を防ぐ
    - \* 背景に軍学者の(② **由井正雪**)による慶安の変
  - b (③ **殉死**)の禁止：新しい主人への奉公を義務づける

## ▶幕府政治の安定

- 2 (④ ) (5代将軍)の時代：元禄時代
- a (⑤ )の重視：(⑤ )が主従関係や  
上下関係を重視するため
- b 朝廷の儀式の復興：将軍の権威を高めるため
- c (⑥ )：生き物の殺生を禁じる
- d 服忌令：忌引の日数などを定める
- e 貨幣改鑄：質を落とした小判を発行(発行数を増やす)
- \* 背景に(⑦ )からの復興や、金・銀の  
産出量減少による財政悪化

## ▶幕府政治の安定

- 2 (④ **徳川綱吉**) (5代将軍)の時代：元禄時代
  - a (⑤ **朱子学**)の重視：(⑤ **朱子学**)が主従関係や上下関係を重視するため
  - b 朝廷の儀式の復興：将軍の権威を高めるため
  - c (⑥ **生類憐みの令**)：生き物の殺生を禁じる
  - d 服忌令：忌引の日数などを定める
  - e 貨幣改鑄：質を落とした小判を発行(発行数を増やす)
    - \* 背景に(⑦ **明暦の大火**)からの復興や、金・銀の産出量減少による財政悪化

## ▶幕府政治の安定

- 3 徳川家宣(6代将軍)・徳川家継(7代将軍)の時代  
朱子学者(⑧)が政治の中心となる(正徳の政治)
- a 将軍の呼び名を朝鮮国王と対等の「日本国王」に改める
- b (⑨)の待遇簡素化

## ▶幕府政治の安定

- 3 徳川家宣(6代将軍)・徳川家継(7代将軍)の時代  
朱子学者(⑧ **新井白石**)が政治の中心となる(正徳の政治)
  - a 将軍の呼び名を朝鮮国王と対等の「日本国王」に改める
  - b (⑨ **朝鮮通信使**)の待遇簡素化

## ▶幕府政治の安定

- 3 徳川家宣(6代将軍)・徳川家継(7代将軍)の時代
  - c 閑院宮家を創設して天皇家と結び付きを強める
  - d 貨幣の質を元にもどす
  - e (10) ) : 長崎貿易を制限、金・銀の海外流出を防ぐ



## ▶幕府政治の安定

- 3 徳川家宣(6代将軍)・徳川家継(7代将軍)の時代
  - c 閑院宮家を創設して天皇家と結び付きを強める
  - d 貨幣の質を元にもどす
  - e (⑩ **海舶互市新例**) : 長崎貿易を制限、金・銀の海外流出を防ぐ

## ▶ 儒学と諸学問

### 1 儒学の重視

(④ )が江戸に孔子をまつる(⑪ )  
を建て、林家を責任者に任命。(⑤ )を儒学の本  
流とする

⇔陽明学は現実の社会を批判する傾向があり、幕府は警  
戒

## ▶ 儒学と諸学問

### 1 儒学の重視

(④ **徳川綱吉**)が江戸に孔子をまつる(⑪ **湯島聖堂**)  
を建て、林家を責任者に任命。(⑤ **朱子学**)を儒学の本  
流とする

⇔陽明学は現実の社会を批判する傾向があり、幕府は警  
戒

## ▶ 儒学と諸学問

### 2 学問の発展

- a 歴史学：水戸藩の藩主(❶)が『大日本史』の作成を命じる
- b 国文学：『万葉集』や『源氏物語』などの研究
- c 和算：(❷)による円周率の研究など

## ▶ 儒学と諸学問

### 2 学問の発展

- a 歴史学：水戸藩の藩主(⑫ **徳川光圀**)が『大日本史』の作成を命じる
- b 国文学：『万葉集』や『源氏物語』などの研究
- c 和算：(⑬ **関孝和**)による円周率の研究など

## ▶元禄文化

経済の発展を背景に、経済力を持つ上方の町人によって新しい文化が生まれる

### 1 文学

#### a 浮世草子

(14) )が町人の生活をえがく

代表作：『日本永代蔵』など

## ▶元禄文化

経済の発展を背景に、経済力を持つ上方の町人によって新しい文化が生まれる

### 1 文学

#### a 浮世草子

(**14 井原西鶴**)が町人の生活をえがく

代表作：『日本永代蔵』など

## ▶元禄文化

### 1 文学

b (15) )や歌舞伎の台本

(16) )が義理と人情の葛藤をえがく

代表作：『曾根崎心中』

c 俳諧

(17) )によって大成 代表作：『奥の細道』など



## ▶元禄文化

### 1 文学

b (⑮ **人形浄瑠璃**) や歌舞伎の台本

(⑯ **近松門左衛門**) が義理と人情の葛藤をえがく

代表作：『曾根崎心中』

c 俳諧

(⑰ **松尾芭蕉**) によって大成 代表作：『奥の細道』など

## ▶元禄文化

### 2 美術

a (18)

) : 独自の構図と色彩を持つはなやか  
で装飾的な絵画を完成

b (19)

) : 『見返り美人図』など(20  
)をえがく

## ▶元禄文化

### 2 美術

- a (18 **尾形光琳**) : 独自の構図と色彩を持つはなやかで装飾的な絵画を完成
- b (19 **菱川師宣**) : 『見返り美人図』など(20 **浮世絵**)をえがく

**Q①** ▶ 平和が到来すると幕府の政治はどのように変化したのだろうか。

**A** ▶

**Q①** ▶ 平和が到来すると幕府の政治はどのように変化したのだろうか。

**A** ▶

それまでは武力を背景とした幕府政治が行われていたが、平和の到来を背景に、戦国時代以来の慣習を取り除くとともに、儀礼や法、学問などで政治・社会秩序を安定させ、将軍の権威を高めようとする幕府政治へと転換した。

**Q②** ▶ 元禄文化は、どのような特徴を持つ文化だったのだろうか。

**A** ▶

**Q②** ▶ 元禄文化は、どのような特徴を持つ文化だったのだろうか。

**A** ▶

元禄文化は、経済の発展を背景に経済力を持った町人を主な手とする文化で、上方の都市を中心に展開した。現実の社会を直視する文学や、はなやかな絵画が生み出された。

**挑戦してみよう** ▶ 綱吉が出した武家諸法度は家光が出した武家諸法度(教P.121)とどのように異なっているのだろうか。



武家諸法度(天和令)(一部要約)

- 一、学問・武芸とともに忠孝にはげみ、礼儀を正しくするようによせよ。
- 一、実子のいない大名の養子は一族の者から選び、もしふさわしい者がいない場合は、候補者を大名自身が生きているうちに報告せよ。五十歳以上・十七歳以下の年齢である大名が臨終に臨んで養子を決める場合でも、一族がよく候補者を調べたうえで養子に立てるようによせよ。
- 付則、殉死はいっそう厳しく禁止する。

〔御触書寛保集成〕



**挑戦してみよう** ▶ 綱吉が出した武家諸法度は家光が出した武家諸法度(教P.121)とどのように異なっているのだろうか。

**A▶**

綱吉が出した武家諸法度は、学問・武芸だけでなく、新たに忠孝の道德と礼儀による秩序を大名に求めている。また、末期養子の禁止の緩和や殉死の禁止も明文化されるようになった。

武家諸法度(天和令)(一部要約)

一、学問・武芸とともに忠孝にはげみ、礼儀を正しくするようによせよ。

一、実子のいない大名の養子は一族の者から選び、もしふさわしい者がいない場合は、候補者を大名自身が生きているうちに報告せよ。五十歳以上・十七歳以下の年齢である大名が臨終に臨んで養子を決める場合でも、一族がよく候補者を調べたうえで養子に立てるようによせよ。

付則、殉死はいつそう厳しく禁止する。

〔御触書寛保集成〕

**ステップアップ**▶ 諸学問の発展は、政治や社会とどのような関係にあるか、多面的に考えてみよう。

A▶

**ステップアップ**▶ 諸学問の発展は、政治や社会とどのような関係にあるか、多面的に考えてみよう。

**A**▶

幕府政治が安定し、儀礼や法による政治・社会秩序が求められるようになるると、朱子学をはじめとする儒学が重視され、その発展がうながされた。また、測量や商取り引きなどの必要から和算が発達するなど、社会の実用に適する学問も重視された。